

まちの話 だい

7月23日 | 新さわやかしまだが決定

7月23日、市観光協会主催の「2018 さわやかしまだコンテスト」がプラザおおりで行われ、第12代さわやかしまだ（写真左から大石亜美さん、鈴木紗衣さん、虎岩麻緒さん）が決定しました。

今後3人は、市内の観光名所・施設・特産品などを全国に向けて、積極的なPR活動を行います。任期は2年間。新たに「島田の顔」となる3人への応援、よろしくお願いします。



7月26日 | 平和の大切さを忘れずに

原爆の「模擬爆弾」投下による犠牲者を慰霊する「島田空襲被爆者慰霊のつどい」が扇町公園で行われ、遺族や関係者など約150人が参列しました。

犠牲者に黙とうをささげた後、島田第二小学校5年生の2人（田中奏遥さん、杉本哲久さん）が、それぞれ平和の誓いを朗読。祖父が島田空襲体験者の杉本さんは「戦争の恐ろしさや平和の大切さを伝えていきたい」と平和の尊さを読み上げました。

トピックス

川根温泉が開館20周年



「川根温泉ふれあいの泉」がオープン20周年を迎え、7月21日に記念式典が行われました。川根温泉は1994年に開湯して以来、20年間で入浴者数が710万人に達し、人気の施設となっています。

式典には、染谷市長や米澤國雄まちづくり川根の会理事長ら多くの関係者が出席。くす玉を割って節目となる年を祝った後には、お楽しみ抽選会や太鼓演奏、書道パフォーマンスなどが行われ、施設内は多くの人でにぎわっていました。





7月27日 | 患者の心に寄り添って

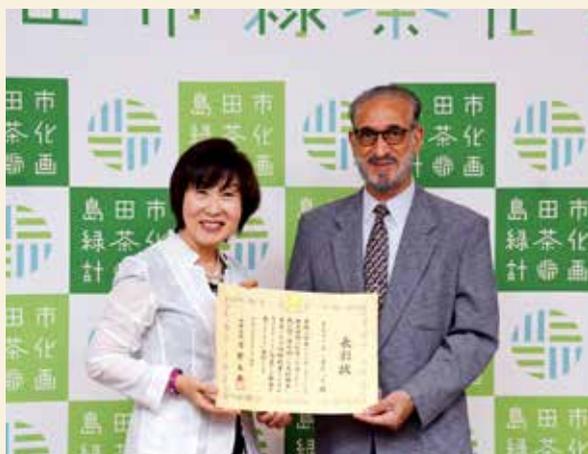
看護への理解と関心を深め、将来の進路選択の一助としてもらうため、島田市民病院で高校生1日ナース体験が行われました。

40人の生徒たちは白衣に袖を通し、患者の足浴をお手伝い。緊張しながらも、優しく声を掛けて丁寧に脚を洗いました。患者の大塚りつさんは、この日のために用意していた塗り絵を生徒たちにプレゼント。和やかなひと時を過ごしました。

7月22日 | 偉人の功績を語り継ぐ

江戸時代に起きた飢饉で、年貢の減免を田中藩（現藤枝市）に直訴し、自分の命と引き換えに農民を救った細島村（現島田市）の庄屋「増田五郎右衛門」。その没後200年を記念した催しが、7月21日と22日に東町内の各所で行われました。

六合東小学校の体育館では、同校4年生が演劇を披露。大勢の観客の前で五郎右衛門の勇姿を演じ、地域の偉人を偲びました。



トピックス

外務大臣表彰を受賞



NPO法人「カレーズの会」理事長を務めるレシャード・カレド医師が、平成30年度外務大臣表彰（個人）を受賞し、7月27日に染谷市長を表敬訪問しました。

カレーズの会は、対アフガニスタン支援を16年間継続的に実施。これまで54万人の患者を治療し、16万人の子どもに予防接種を行い、教育面での支援も行っています。染谷市長は「島田市民の誇り。これを機に、カレーズの会を支援する人がさらに増えてくれれば」と受賞をたたえました。